

平成 30 年度 おとぎ認定こども園 事業報告

<総括>

神戸市からの民間移管を受けてから 9 年目を迎え、地域におけるより身近で、開かれた施設として着実に根付いてきました。幼保連携型認定こども園に移行して 4 年目となり、保護者の就業の有無にかかわらず、同じ教育・保育を提供してきました。在園途中で、保護者が仕事を辞めても、慣れ親しんだ園に通い続けられることで喜ばれています。地域や社会環境のニーズをキャッチし、その対策や対応の中で保育サービスの充実を図りました。就学準備としての教育や園児の健康維持を図る行事を通して基本的生活習慣の確立を図るとともに、人間としての生き方を体で覚えさせる取り組みの充実を図りました。園近隣への散歩や山登りなど、自然の中での様々な体験や経験を行うことで、五感を通した自然体験を得ることができ、自然の中での遊びなどの楽しさを覚えた子どもがたくさんできたことは大きな実績でした。また、園の活動を地域の方々によく理解していただくと共に、日本の伝統行事や文化行事では、老人会や未就園児を招いて、地域の中に溶け込んでいく園をめざし、広報、宣伝活動にも力を入れ、以下の事業内容を実施しました。

<内容>

	重点実施項目	実行内容	結果
地域貢献の視点より	1、子育て家庭への保育園機能の開放 2、子育て等に関する相談や援助の実施 3、子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進 4、地域の子育て支援に関する情報の提供 5、老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立化の防止 6、園行事の地域への開放により地域の活性化と子育て、子育ての支援をはかる	1、①園庭開放の実施 ②体験保育の実施 ③一時保育の実施 2、子育て相談の実施 3、①園庭開放の実施 4、乙木地域子育て茶ミットへの参加 5、老人会（ふれあい町づくり）との交流行事の実施 6、七夕会、プール開き、地藏盆、運動会、もちつき、七草粥、豆まき等の行事を実施	1、①毎週 2 回開催した ②年間 1 回開催した(7/6) ③4 月より実施した 2、96 回（園庭開放時） 3、①毎週 2 回（火・木）開催した ②年間 1 回開催しているが、今年度は警報発令のため、中止 4、年間 4 回参加し、情報を提供した 5、カレーパーティー・焼き芋パーティー・もちつきを実施した 6、ポスターを掲示して、参加者を募集し、全て実施した 神戸新聞(2 回)に本園の記事が掲載された（地藏盆・七草粥）
利用者の視点より	1、教育・保育内容 (1) 教育・保育要領に基づく教育・保育の計画と評価の実施 (2) 小学校へつなげる保育	(1) 教育・保育要領に基づく保育の実施、保育要録の作成 (2) 年長児のワークの実施	(1) 教育・保育要領を作成して実施。5 歳児 29 名の子どもを育てるための資料（要録）を就学する各小学校へ送付。 (2) 1 月より実施

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者 の 視 点 よ り	・就学準備としての教育		ひらがなのワークを導入し、午後活動に取り入れた。
	(3) 障害児（すこやか）保育の実施	(3) 障害児の積極的な受け入れと早期発見・早期対応	(3) 5名を受け入れた 5歳児：りんご組1名 4歳児：みかん組2名 3歳児：ばなな組2名 その他、配慮を要する子や気になる子の記録をとり、保育計画・実践に生かした
	(4) 伝統行事や文化行事を実施する中で、人間としての基本的な型と生きる力を体で覚える「心と体の教育」の実施	(4) 七夕会、お泊り保育、地藏盆、運動会、人形劇観劇、老人とのふれあい交流（カレーパーティー、焼き芋パーティー、おもちつき）、成道会、七草粥、豆まき、生活発表会、野菜や花の栽培	(4) 全て実施した お泊り保育・運動会では、体力づくりの増進と目的を持って取り組み、やり遂げる強い意思を培った 七草粥・豆まきなど、日本古来からの伝統文化を体験し、その風習や習わしを知ることができた
	(5) 保護者への保育内容告知	(5) 入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布、よい子ネットによる情報提示	(5) 入園のしおりについては新入園児31名（17世帯）に配布した 園だより・クラスだよりは年間12回発刊（毎月1回発刊）した
	(6) 保育教諭の加配	(6) 4月当初で4人加配	(6) 4月当初で4人つけた
	(7) 虐待児童の早期発見・早期対応	(7) 毎日の視診、長期欠席児の理由確認、垂水区・保健センター等、専門機関との連携	(7) 毎日の視診・触診を通して確認。長期欠席児には、電話連絡にて、保護者に病状を確認した 虐待と判断できる児童はいなかった
	(8) 自然の中での様々な体験をする行事	(8) お泊り保育、園外保育、さつま芋掘り、たまねぎ抜き、旗振り山登山、たまねぎ植え付け、野菜の栽培	(8) 全て実施した

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者視点	(9) 園舎内外の環境整備	(9) 園舎内外の環境の整備、故障等の修理	(9) グリストラップ設置交換・スチームコンベクション・冷蔵庫・炊飯器・食洗器の新調(調理室)・エアコン(職員室)・漏電基幹ブレーカー新調・窓ガラスの交換(遊戯室)
	2、健康及び安全 (1) 食育の促進	(1) ①自園給食・手作りおやつの実施 ②食物アレルギー児への対応 ③野菜栽培の実施 ピーマン・きゅうり・なすび・トマト・大根・蕪・オクラ・枝豆・玉葱・さつまいも栽培	(1) ①年間 294 日(給食) 年間 228 日(手作りおやつ) ②除去食提供(6名) ③園庭でのプランターと園の菜園で野菜作りを体験した(3~5歳児対象)
	(2) 子ども健康状態、発育・発達状態の把握と健康増進をはかる	(2) 発育測定、内科健診、耳鼻科健診、眼科健診、歯科検診、尿検査 山登り(1回:5歳児)と散策(0~5歳児)、マラソン(12~3月)等	(2) 全て実施した 発育測定(12回) 内科健診(2回) 耳鼻科検診(1回) 歯科検診(2回) 眼科検診(1回)
	(3) 環境整美と衛生管理の徹底	(3) ①整理・整頓・清掃と手洗い、消毒の徹底	(3) ①消毒に電解水を使用 各保育室・トイレ・給食室等、園舎内の消毒に使用 延長パート職員による保育室・トイレの最終消毒を実施した
(4) 安全指導と不測の事態への対応	(4) ①遊具の点検の実施 ②避難訓練(火災・地震・不審者・自然災害等)の実施 ③正門の自動扉と北側門扉のカギかけの実施	(4) ①毎日実施し、記録を保管 ②毎月実施した(但し、月により内容は異なる)年間 24 回 ③毎日実施した	
3、保護者支援 (1) 園と家庭の相互連絡の充実	(1) ①連絡帳・連絡票の利用、園	(1) ①全て実施した	

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者 の 視 点 よ り		だより、クラスだより、よ い子ネットによる情報提 示	連絡帳・連絡票(毎日) 園だより・クラスだよ り(月1回:各12回) よい子ネット(121回)
		②子ども送迎時の対応	②随時、口頭・電話等で 実施した
		③苦情相談の受付等	③口頭で回答、ホームペ ージで報告した
	(2) 低年齢児保育の積極的な実施	(2) 0・1歳児の積極的な受け入 れ実施	(2) 委託依頼は全て受け入 れた 0歳児:9名 1歳児:18名
	(3) 働く両親の就労援助	(3) 一時保育・延長保育の実施	(3) 一時保育利用児: 延べ29人 延長保育利用児: 延べ4,223人
	(4) 安全で安心な遊び場の提供	(4) ①園庭遊具の管理	(4) ①管理員及び保育教諭 とで、園庭整備を行っ た。毎日、遊具の点検 を行った。
		②園庭開放実施	②毎週火・木曜日に実 施した。年間96回
		③防犯カメラ設置	③園内外9カ所にカ メラを設置し、不審者 の侵入対策や園児の 遊びの安全を確認す る
	(5) 教育・保育サービスの全体的な質 の向上をはかる	(5) 保育教諭、職員の研修の実施	(5) 園内外の研修に、可能 な限り参加した 延べ人数:92人 ・接遇研修(2/28,3/2)を 実施した
	(6) 駐車スペースの確保	(6) 送迎時の駐車スペースを確 保する	(6) 登降園の渋滞時間 には、職員が交通整理を 行った
4、苦情解決・財務諸表の公開			
(1) 苦情への適切な対応を図り、利用 者の満足感を高める	(1) 投書箱の設置、連絡帳、口頭、 電話等による苦情の受付「要 望・意見・苦情・相談」発生・ 解決報告書への記入	(1) 実施した 口頭2件 電話2件 連絡帳1件 計5件	
(2) 利用者個人の権利を擁護し、利用	(2) 苦情解決責任者、苦情受付担	(2) 実施した	

	重点実施項目	実行内容	結果
利用者 の 視 点 よ り	者がサービスを適切に利用することができるようにする	当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表（玄関）	
	<p>(3) 苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適正性をはかる</p> <p>(4) 財務諸表の公開をする</p> <p>5、保幼小連携</p> <p>(1) 教職員の交流、情報交換をはかる</p>	<p>(3) 年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表。</p> <p>(4) 事務室に置き、希望者にいつでも公開できるようにする</p> <p>(1) ①新1年生の就学引き継ぎ（連絡会）を実施</p> <p>②近隣の小学校との話し合い</p> <p>③垂水区内小学校校長・幼稚園園長・保育園園長との話し合い</p> <p>④近隣の小学校・保育所・幼稚園との交流</p>	<p>(3) 実施した「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入（5件）</p> <p>(4) 実施したが、公開希望者はいなかった</p> <p>(1) ①2/25に乙木小から3名、2/22に塩屋小学校から1名、福田小学校から2名が来園し、22名の引き継ぎを実施、保育要録を手渡した 他校への就学7名は電話で引き継ぎをし、保育要録を郵送した</p> <p>②5歳児担任が近隣の小学校との話し合いに参加(11/19)</p> <p>③垂水区内小学校校長・幼稚園園長・こども園園長との話し合いをした(9/13)</p> <p>④小学校の入学式・運動会・音楽会・卒業式、幼稚園の生活発表会、保育所との5歳児交流に参加し、交流を図った 茶ミット会議に参加し、情報交換をした</p>
	<p>1、経費の節約</p> <p>2、財務諸表による経営状態の確認</p>	<p>1、コピー、上水道、電気代等の節約</p> <p>2、専門家の指導を受け、財務分析を受ける</p>	<p>1、経費節減に努めた</p> <p>2、Man90 砂田氏より指導を受け、経営状態は良との</p>

	重点実施項目	実行内容	結果
財務諸表の視点より	<p>3、園庭環境の充実</p> <p>4、保育用品・事務用品・事務機器、備品等の充実</p>	<p>3、砂場の砂、園庭の真砂土の補充 園庭の樹木と下草の植え込み の手入れ、季節ごとの草花の 栽培</p> <p>4、備品等の購入</p>	<p>判定を受けた</p> <p>3、砂場の砂入れと、園庭 の整備を行った 春・秋とプランターに 季節の花を植えた</p> <p>4、以下のものを購入した 電子ピアノ(2)、個人ロッ カー(1)、タオルかけ (2)パソコン(4) 給食配 膳台(4) 足ふきマット (6)・プール(1)・ワン タッチテント(1)</p>
業務プロセスの視点より	<p>1、業務改善取り組みの構築</p> <p>2、危機管理マニュアルの見直しと作成</p> <p>3、各部の計画と実施</p>	<p>1、各部、各係ごとのPDCAの作 成・実行・報告</p> <p>2、事故防止、事故発生時の対応マ ニュアル、投薬マニュアル、不 審者対策、感染症・食中毒マニ ュアル、自然災害対応マニ ュアルの見直しと点検</p> <p>3、食育計画、学校保健計画、学校 安全計画の作成と実施</p>	<p>1、各部ごとのPDCAの作 成・結果報告・来年度に 向けての対策を各分掌 でまとめた。1月に実施 結果報告を各係から報 告させ、2月に分掌部長 が総合して結果報告書 を提出し、3月に新分掌 部長への引き継ぎを行 った</p> <p>2、実施した</p> <p>3、実施した</p>
人材育成の視点より	<p>1、人材の確保をはかる</p>	<p>1、①地域だけでなく、関西一円か ら募集する</p> <p>②人事考課の作成と実施</p>	<p>1、①神戸市私立保育園連盟 管轄パソナより 1 名 (H30年6月入職)、 直接契約3名(内1名・ H31年2月入職・内2 名 H31年4月入職) 就職フェアより 1 名 (H31年4月入職) 実習生より 1 名 (H31 年度4月入職)</p> <p>②作成し、実施した</p>

	重点実施項目	実行内容	結果
人材育成の視点より	2、新人・新採用職員の育成をはかる	2、①3月に新任研修を行う ②スーパーバイザーとして主幹保育教諭をつける ③他園との合同研修を行う	2、①3月より研修を実施(3/1～3/31まで) ②スーパーバイザーとして、主幹保育教諭が指導を行った ③法人合同新人研修として西神吉認定こども園にて行った(2/28)
	3、職員の研修計画の作成と資質の向上をはかる	3、園内外の研修を本務に支障のない限り受けさせた	3、実施した 延べ人数：92人
	4、接遇・マナーの向上	4、専門家の指導を受け、研修する	4、法人合同の接遇研修を照隅認定こども園で行った(3/2)
	5、職務内容に応じた給与システムの検討をする	5、職能等級規程による人事考課の実施	5、実施した